



セカンダリ RAT 使用状況 CDR レコード処理中の Sessmgr の再起動

- [機能の概要と変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [変更された機能 \(2 ページ\)](#)
- [コマンドの変更 \(2 ページ\)](#)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	P-GW
該当プラットフォーム	• ASR 5500 • VPC-DI • VPC-SI
機能のデフォルト	有効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	• P-GW Administration Guide • Command Line Interface Reference

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
このリリースでは、CDR の RAT 使用状況レポートを制限するために、新しい CLI コマンド <i>limit-secondary-rat-usage</i> が導入されました。	21.23

改訂の詳細	リリース
このリリースでは、CDR の RAT 使用状況レポートを制限するために、新しい CLI コマンド <i>limit-secondary-rat-usage</i> が導入されました。	21.21.3
最初の導入	21.19.7

変更された機能

以前の動作：課金データレコード（CDR）プロセスがトリガーされている間に、セッションマネージャ（SessMgr）が再起動されます。異なるスタックでバッファが 64K バイトに達すると、再起動が発生します。

新しい動作：この StarOS 21.21.3 リリースと StarOS 21.23 リリースでは、CDR 内のセカンダリ無線アクセス技術（RAT）の使用状況レポートの数を最大 32 レコードに制限することで、SessMgr の再起動を回避できます。CDR のセカンダリ RAT 使用状況レポートを制限するために、新しい CLI コマンド *limit-secondary-rat-usage* が導入されました。



（注） デフォルトでは、*limit-secondary-rat-usage* は無効になっています。この CLI は、CUSTOM38 デictionaryナリには適用されません。

コマンドの変更

次の CLI 設定を使用して、CDR のセカンダリ RAT 使用状況を制限します。

```
configure
context context_name
gtpp group group_name
[no] limit-secondary-rat-usage
end
```

注：

- **limit-secondary-rat-usage**：CDR のセカンダリ RAT 使用状況レポート数の制限を有効にします。
- **no**：CDR のセカンダリ RAT 使用状況レポート数の制限を無効にします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。